

調 査 の 概 要

1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、平成 13 年度から実施を始めた統計調査であり、新たに平成 22 年に出生した子を追加し、その実態及び経年変化の状況を継続的に観察するとともに、平成 13 年に出生した子との比較対照等を行うことにより、少子化対策等の施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

2 調査の対象

全国の平成 22 年（2010 年）5 月 10 日から同月 24 日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

第 1 回調査における対象児は月齢 6 か月である。

3 調査の時期

平成 22 年 12 月 1 日とした。

4 調査事項

母の就業状況、父母の育児休業の取得状況、父母の喫煙の状況、保育サービスの利用状況 等

5 調査の方法

調査票の配布及び回収は郵送により行った。

6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は次のとおりである。

	配布数	回収数	回収率
第 1 回	43,767	38,554	88.1%

7 集計客体数

同居者の構成、きょうだい数別にみた集計客体数は次のとおりである。

(単位:人)

	総数	1人 (本人のみ)	2人	3人以上
総数	38 554 (100.0)	18 132 (47.0)	14 486 (37.6)	5 936 (15.4)
父母と同居	37 599 (97.5)	17 558	14 249	5 792
父母又は父母ときょうだいのみ	31 333 (81.3)	14 895	11 862	4 576
父母のみ	14 895 (38.6)	14 895	・	・
父母ときょうだいのみ	16 438 (42.6)	・	11 862	4 576
父母と祖父母	6 055 (15.7)	2 580	2 299	1 176
父母と母方の祖父母	2 136 (5.5)	935	850	351
父母と父方の祖父母	3 890 (10.1)	1 629	1 442	819
父母と両方の祖父母	29 (0.1)	16	7	6
父母とその他	211 (0.5)	83	88	40
父又は母と同居	924 (2.4)	545	237	142
母のみ又は母ときょうだいのみ	340 (0.9)	136	103	101
母と祖父母等	580 (1.5)	406	133	41
父のみ又は父ときょうだいのみ	- (-)	-	-	-
父と祖父母等	4 (0.0)	3	1	-
その他	25 (0.1)	23	-	2
不詳	6 (0.0)	6	-	-

8 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のあり得ない場合	・
比率が微少(0.05未満)の場合	0.0

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。

なお、各図は集計客体が異なるため、脚注にそれぞれ総数を掲載している。

(3) この概況に掲載の「平成13年出生児」の数値は、平成13年1月10日から同月17日の間及び7月10日から同月17日の間に出生した子を対象とした第1回21世紀出生児縦断調査(平成13年出生児)結果によるものである。

なお、第1回21世紀出生児縦断調査(平成13年出生児)対象児は月齢6か月である。